

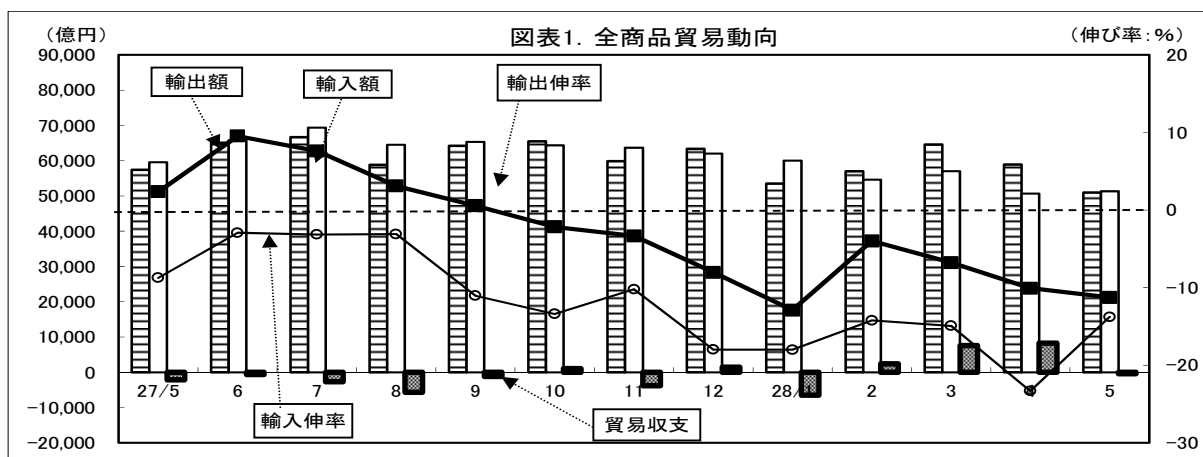
「最近の機械貿易動向(5月)～機械輸出伸び率8ヶ月連続マイナス～」

日本機械輸出組合 2016.7.22.

平成28年5月の機械輸出額は3兆2,391億円、対前年同月比10.1%減と、8ヶ月連続でマイナスとなった。これは、①6地域向けすべてで伸び率がマイナスとなったこと、②自動車、産業機械、電子デバイス等主要な輸出業種のほとんどがマイナスとなったことなどによる。為替・営業日要因が0.2%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は10.3%減と再びマイナスとなった。平成28年6月の為替・営業日要因は7.0%の減少寄与要因となっているが、7月8日発表の貿易統計速報によれば6月上旬の全商品輸出は11.6%減であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は8ヶ月連続、輸入は17ヶ月連続でマイナス～

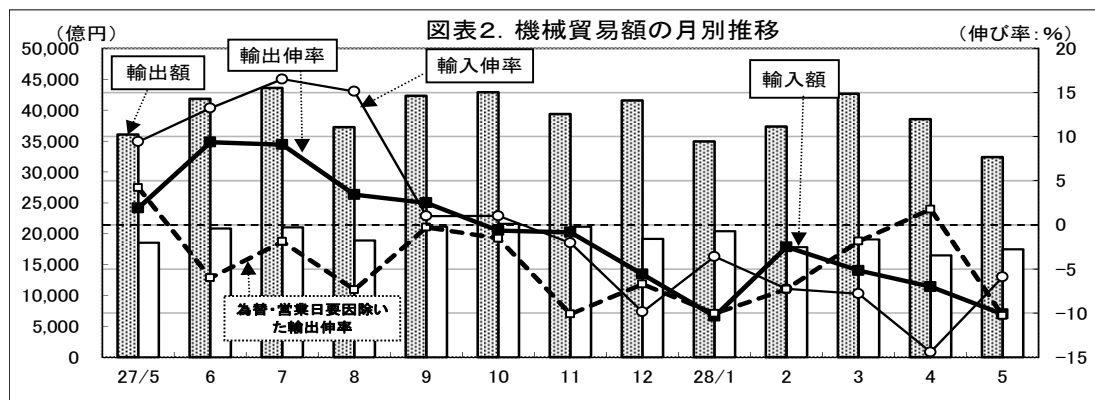
- 平成28年5月の全商品輸出額は**5兆918億円**、前年同月比(以下同じ)**11.3%減**と8ヶ月連続でマイナスとなった(4月10.1%減)。これは、全輸出額の約12%を占める鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(18.1%減)、17%の電気機器(16.1%減)、11%のプラスチック・有機化合物等化学製品(12.6%減)等が大きくマイナスとなったためである。
- 輸入額は**5兆1,323億円**、**13.8%減**と17ヶ月連続でマイナスとなった(4月23.3%減)が、減少率は縮小した。これは、全輸入額の約17%を占める原油等鉱物性燃料(33.5%減)が原油価格下落等で大幅に減少したことに加え、16%を占める電気機器(9.1%減)、10%の原料別製品(13.5%減)が減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、406億円と4ヶ月ぶりの赤字となった。(4月は8,232億円の黒字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は8ヶ月連続でマイナス～

- 全商品輸出額の約64%を占める5月の機械輸出額は**3兆2,391億円**、**10.1%減**と8ヶ月連続でマイナスとなり(4月7.0%減)、その水準は、リーマンショック前(2008年5月)と比べると**71.9%**となって、前月に比べて10.2ポイント悪化した(4月82.1%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的な伸び率は10.3%減**であった。
- 一方、全商品輸入額の約34%を占める機械輸入額は、**1兆7,471億円**、**5.9%減**と7か月連続でマイナスとなった(4月14.4%減)。リーマンショック前(2008年5月)の水準と比較しても13.9%増となっている。

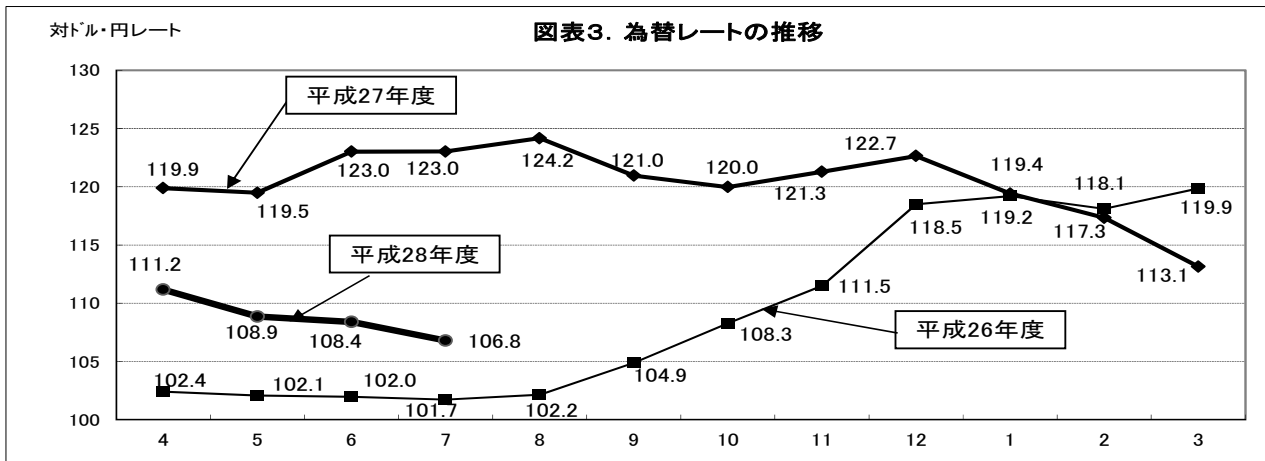


(2) 為替・営業日動向～5月は0.2%の増加要因、6月は約7.0%の減少要因～

1) 5月は1ドル＝108.9円となり、前年に比べ8.9%の円高となった。また、対ユーロは123.6円と前年に対して6.7%の円高となり、合わせて約5.1%の為替減少要因となった。営業日は前年より1日多いため、5.6%の増加要因となり、合計で約0.2%の増加要因となる。5月の輸出額は10.1%減であったことから、実質的伸び率は10.3%減と再びマイナスとなった(4月1.8%増)。

2) 6月は1ドル＝108.4円で前年比11.9%の円高、対ユーロでは121.8円で前年比11.0%の円高となり、合わせて約7.0%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約7.0%の減少要因となる。

3) 7月は、対ドルが7月21日17:00時点の106.8円とすれば、前年に比べて13.2%の円高、また、対ユーロは117.8円で14.1%の円高となり、合わせると約7.9%の為替減少要因となる。営業日は前年より2日少ないため、約9.1%の減少要因となり、合計で約16.3%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～6地域向けすべてで伸び率がマイナス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の25.1%を占める最大輸出先の北米向けでは、全体の48%を占める自動車(5.2%減)をはじめ、産業機械(17.6%減)や航空機部品(8.3%減)等が減少して9.2%減となった。②20.5%を占める中国向けでは、産業機械(11.6%減)、自動車(2.9%減)、電子デバイス(19.9%減)がマイナスとなって16.4%減となり、③15.2%のASEAN・南アジア向けは、ベトナム(16.9%減)、タイ(14.1%減)、マレーシア(13.1%減)等が大幅に減少し、業種では、全体の25%を占める自動車(0.9%減)をはじめ、23%の産業機械(11.4%減)、電子デバイス(29.7%減)等がマイナスとなって10.8%減となった。④12.1%を占めるEU向けは、35%を占める自動車(12.2%増)がプラスとなったものの、産業機械(13.2%減)、理化学用機器等軽機械(4.3%減)等がマイナスとなって、3.3%減となり、⑤10.9%を占める韓国・台湾向けは産業機械(24.0%増)がプラスとなったものの、電子デバイス(12.0%減)、重電気機械(29.4%減)、光学機械(19.1%減)がマイナスとなって6.1%減となった。⑥16.2%のその他地域向けでは、アフリカ(17.4%減)、中南米(14.8%減)、大洋州(13.4%減)向け等が大きくマイナスとなり、機種では、59%を占める自動車(8.0%減)をはじめ、船舶(17.6%減)、産業機械(1.7%減)等がマイナスとなって9.7%減となった。

2) また、リーマンショック前の2008年5月の地域別輸出額と比較すると、90%を超えた地域はなく、ASEAN・南アジア、韓国・台湾、北米向けが80%台、中国向けが70%台、その他地域、EU向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2016/3			2016/4			2016/5			対08年 5月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	42,655	▲ 5.2	100.0	38,548	▲ 7.0	100.0	32,391	▲ 10.1	100.0	0.72
北米	11,044	▲ 3.8	25.9	10,064	▲ 6.8	26.1	8,123	▲ 9.2	25.1	0.80
中国	8,299	▲ 5.3	19.5	7,765	▲ 7.2	20.1	6,649	▲ 16.4	20.5	0.78
ASEAN・南アジア	6,369	▲ 10.9	14.9	5,752	▲ 11.5	14.9	4,924	▲ 10.8	15.2	0.83
EU	5,410	▲ 11.6	12.7	4,958	▲ 10.5	12.9	3,922	▲ 3.3	12.1	0.53
韓国・台湾	4,072	▲ 5.8	9.5	3,509	▲ 9.5	9.1	3,538	▲ 6.1	10.9	0.83
その他	7,461	▲ 11.6	17.5	6,500	▲ 12.4	16.9	5,235	▲ 9.7	16.2	0.59

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2016/2		2016/3		2016/4		2016/5	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,791	▲ 3.0	2,019	▲ 11.8	1,798	▲ 11.0	1,620	▲ 9.8
台湾	1,627	3.7	2,052	1.0	1,711	▲ 7.9	1,917	▲ 2.8
ASEAN・南アジア								
タイ	1,466	▲ 12.6	1,544	▲ 11.3	1,535	▲ 1.8	1,208	▲ 14.1
シンガポール	900	▲ 6.1	1,137	▲ 8.5	925	▲ 9.6	868	▲ 1.8
インドネシア	590	▲ 22.5	675	▲ 25.3	562	▲ 27.5	582	▲ 7.6
マレーシア	673	▲ 7.6	742	▲ 9.9	681	▲ 10.8	546	▲ 13.1
フィリピン	597	0.9	636	▲ 11.9	633	1.1	567	▲ 8.6
ベトナム	498	▲ 30.9	664	▲ 13.1	624	▲ 26.3	513	▲ 16.9
インド	429	15.5	499	1.8	382	▲ 13.7	317	▲ 10.0
パキスタン	119	7.5	154	2.7	145	9.1	118	6.6
その他地域								
中南米	2,097	▲ 13.8	2,583	▲ 5.8	2,202	▲ 10.6	1,638	▲ 14.8
中近東	1,873	▲ 11.7	2,114	▲ 15.1	1,675	▲ 21.7	1,450	▲ 5.4
大洋州	1,198	2.7	1,100	▲ 7.8	1,205	6.4	937	▲ 13.4
ロシア東欧等	816	▲ 20.3	928	▲ 7.4	792	▲ 24.8	730	4.9
アフリカ	579	▲ 15.4	675	▲ 29.3	554	▲ 15.5	455	▲ 17.4

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種中プラスは1業種のみ。二桁減は14業種。～

- 1)業種別では、全21業種中プラスとなったのは1業種のみで、前月より2機種減少した。業種では、全体の約34%を占める自動車(3.1%減)、19%の産業機械(6.2%減)、8%の電子デバイス(20%減)等の主要輸出業種をはじめ、ほとんどの業種がマイナスとなり、二桁減の業種も14業種あった。プラスとなったのは、鉄道車両(84.5%増)のみであり、この結果、機械全体で10.1%減となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、軽機械の2業種で前月より1業種減少し、他方、民生用電子機械、電子計算機が30%台、産業車両が40%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

業種名	2016/3			業種名	2016/4			業種名	2016/5			対08/5比
	金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア	
自動車	14,792	▲ 0.6	34.7	自動車	13,603	▲ 6.3	35.3	自動車	11,006	▲ 3.1	34.0	0.72
産業機械	7,511	▲ 8.3	17.6	産業機械	6,857	▲ 2.7	17.8	産業機械	6,129	▲ 6.2	18.9	0.85
電子デバイス	3,057	▲ 6.7	7.2	電子デバイス	2,916	▲ 10.8	7.6	電子デバイス	2,528	▲ 20.0	7.8	0.63
船舶	2,559	25.3	6.0	軽電気機械	2,022	▲ 6.9	5.2	軽電気機械	1,614	▲ 17.4	5.0	0.70
軽電気機械	1,993	▲ 9.0	4.7	重電気機械	1,843	▲ 16.0	4.8	重電気機械	1,543	▲ 14.7	4.8	0.75
重電気機械	1,917	▲ 14.8	4.5	軽機械	1,655	▲ 2.2	4.3	軽機械	1,367	▲ 6.5	4.2	1.04
軽機械	1,690	▲ 1.3	4.0	民生用電子機械	1,447	▲ 10.1	3.8	船舶	1,215	▲ 10.8	3.8	0.85
民生用電子機械	1,462	▲ 5.1	3.4	船舶	1,444	21.7	3.7	民生用電子機械	1,178	▲ 19.6	3.6	0.37
光学機械	1,141	▲ 25.5	2.7	光学機械	1,118	▲ 18.2	2.9	光学機械	960	▲ 26.1	3.0	0.76
建設機械	1,136	▲ 12.5	2.7	建設機械	1,017	▲ 0.3	2.6	建設機械	848	▲ 1.8	2.6	0.55
航空機部品	872	2.5	2.0	航空機部品	798	▲ 11.0	2.1	航空機部品	723	▲ 4.5	2.2	2.10
工作機械	859	▲ 28.9	2.0	工作機械	593	▲ 40.1	1.5	工作機械	573	▲ 29.9	1.8	0.69
通信機械	593	▲ 7.9	1.4	通信機械	569	▲ 7.4	1.5	通信機械	447	▲ 22.5	1.4	0.51
医療機械	523	▲ 9.1	1.2	電子計算機	419	▲ 6.2	1.1	医療機械	345	▲ 11.1	1.1	0.97
電子計算機	443	▲ 19.5	1.0	医療機械	398	▲ 3.4	1.0	電子計算機	341	▲ 17.7	1.1	0.38
陸用内燃機関	414	▲ 2.5	1.0	ベアリング	369	▲ 15.1	1.0	ベアリング	317	▲ 19.7	1.0	0.94
ベアリング	391	▲ 14.1	0.9	陸用内燃機関	336	▲ 13.8	0.9	陸用内燃機関	289	▲ 17.2	0.9	0.77
繊維機械	219	15.3	0.5	農業機械	205	7.7	0.5	繊維機械	160	▲ 10.9	0.5	0.64
農業機械	216	▲ 12.8	0.5	繊維機械	158	▲ 0.9	0.4	農業機械	156	▲ 8.1	0.5	0.77
産業車両	121	▲ 7.3	0.3	鉄道車両	124	154.4	0.3	産業車両	87	▲ 18.7	0.3	0.41
鉄道車両	105	▲ 17.8	0.2	産業車両	103	▲ 24.1	0.3	鉄道車両	72	84.5	0.2	0.90
21業種合計	42,012		98.5	21業種合計	37,994		98.6	21業種合計	31,825		98.3	0.72

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(5)機種別動向～鉄道車両、半導体製造装置が大幅増、通信機械部分品、工作機械等が大幅減～

- 1)10%以上の伸び率を示した機種は2機種(前月より1機種減)で、①EU向け**鉄道車両**(1.8倍)、②韓国・台湾、中国向け**半導体製造装置**(26.9%増)であった。
- 2)一方、通信機械部分品(32.7%減)、工作機械(29.9%減)をはじめ、マイナス伸び率上位10機種がすべて20%以上の大幅な減少であった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2016/3			2016/4			2016/5		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
船舶	2,559	25.3	鉄道車両	124	154.4	鉄道車両	72	84.5
デジカメ・ビデオ	399	17.6	半導体製造装置	1,522	26.1	半導体製造装置	1,511	26.9
繊維機械	219	15.3	船舶	1,444	21.7	機種合計	1,583	*4.9%
機種合計	3,177	*7.4%	機種合計	3,090	*8.0%			

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品:ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器
 理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター
 その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電機機器・部分品:重電機器部分品、交通管制用機器

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2016/3			2016/4			2016/5		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	91	▲38.9	発電機	65	▲52.8	通信機械部分品	194	▲32.7
工作機械	859	▲28.9	工作機械	593	▲40.1	工作機械	573	▲29.9
その他の光学機器	922	▲28.1	原動力機械	379	▲27.6	写真機の部分品・附属品	113	▲28.2
原動力機械	473	▲26.4	産業車両	103	▲24.1	その他の光学機器	790	▲26.3
金属加工機械	324	▲22.1	通信機械部分品	234	▲20.6	その他の重電機機器・部分品	341	▲24.4
印刷・製本機械	824	▲22.0	その他の光学機器	923	▲19.5	印刷・製本機械	747	▲24.1
電池	182	▲21.2	その他の重電機機器・部分品	429	▲16.8	電気・電子計測器	313	▲24.0
電子計算機	443	▲19.5	デジカメ・ビデオ	335	▲16.6	金属加工機械	209	▲24.0
鉄道車両	105	▲17.8	貨物自動車	836	▲16.5	原動力機械	297	▲23.2
電動機	146	▲17.5	電池	196	▲15.2	TV	81	▲22.4
機種合計	4,369	*10.2%	機種合計	4,093	*10.6%	機種合計	3,658	*11.3%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6)機械輸入動向～電子デバイス、電子計算機、航空機・部品等が大きく減少～

- 1)5月の機械輸入伸び率は5.9%減と7ヶ月連続のマイナスとなった。電子デバイス(13.7%減)、電子計算機(13.0%減)、携帯電話(21.8%減)をはじめ、上位12機種のうち6機種がマイナスとなった(4月は10機種がマイナス)。
- 2)なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、航空機・部品等、携帯電話、白物家電、医療機械、配電機器、受信変換・その他送受信、時計、TV、通信機械部分品となっている。
- 3)地域別機械輸入額は、全体の38%を占める中国(10.3%減)、北米(1.8%増)、ASEAN・南アジア(3.2%減)、EU(5.5%増)、韓国・台湾(14.8%減)、その他地域(8.3%減)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2016/3				2016/4				2016/5			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,182	▲17.8	11.5	電子デバイス	1,931	▲20.5	11.7	電子デバイス	1,877	▲13.7	10.7
電子計算機	2,008	▲2.0	10.5	電子計算機	1,652	▲9.5	10.0	電子計算機	1,444	▲13.0	8.3
自動車部品	1,129	▲4.5	5.9	航空機・部品等	1,004	▲13.3	6.1	航空機・部品等	1,147	8.3	6.6
航空機・部品等	1,037	▲1.2	5.4	乗用車	967	30.8	5.9	自動車部品	1,020	0.8	5.8
携帯電話	1,029	▲27.9	5.4	自動車部品	930	▲9.2	5.6	携帯電話	971	▲21.8	5.6
乗用車	822	▲22.4	4.3	白物家電	701	▲9.5	4.2	乗用車	859	7.4	4.9
医療機械	742	1.3	3.9	携帯電話	664	▲45.8	4.0	白物家電	823	0.3	4.7
白物家電	698	17.4	3.7	医療機械	576	▲10.3	3.5	医療機械	612	13.4	3.5
受信変換その他送受信	540	▲15.5	2.8	配電機器	454	▲13.7	2.7	配電機器	472	▲4.8	2.7
配電機器	514	▲5.5	2.7	受信変換その他送受信	395	▲24.7	2.4	受信変換その他送受信	448	▲7.5	2.6
その他の配電制御装置	391	▲2.4	2.1	時計	357	9.3	2.2	その他の配電制御装置	345	▲8.4	2.0
コンデンサー等部分品	350	0.3	1.8	その他の配電制御装置	325	▲19.5	2.0	風水力機械	332	1.0	1.9
12機種合計	11,442		60.1	12機種合計	9,956		60.3	12機種合計	10,350		59.2

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械
 ・受信変換その他送受信:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等